

# 令和3年度 社会福祉法人 敬聖会 事業報告

## I 法人本部

下記の行事を行い法人各施設の財政の健全性を図るとともに、介護職員処遇改善支援金による給与のベースアップを図るべく給与規程等の見直しをおこなった。

### 1 評議員会の開催

- ・ 定時評議員会（令和3年6月16日） 出席 評議員7名、監事2名
  - 議案第1号 令和2年度事業報告について
  - 議案第2号 令和2年度収支決算について
  - 議案第3号 理事及び監事の選任について
  - 議案第4号 役員等の報酬及び旅費に関する規則について

### 2 理事会の開催

- ・ 第1回理事会（令和3年5月26日） 出席 理事5名、監事2名
  - 議案第1号 令和2年度事業報告について
  - 議案第2号 令和2年度収支決算報告について
  - 議案第3号 定時評議員会の招集について
  - 議案第4号 評議員選任候補者の推薦について
  - 議案第5号 理事及び監事選任候補者の推薦について
  - 議案第6号 評議員選任解任委員の選任について
  - 報告第1号 理事長業務執行状況報告
  - 報告第2号 函館市社会福祉施設整備事業補助申請及び公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団の助成事業申請について
- ・ 第2回理事会（令和3年6月16日） 出席 理事6名、監事2名
  - 議案第1号 理事長の選任について
- ・ 第3回理事会（令和3年9月29日） 出席 理事6名、監事2名
  - 議案第1号 施設長の選任及び解任について
  - 議案第2号 給与規程の改正について
  - 報告第1号 監事監査報告
  - 報告第2号 理事長業務執行状況報告
- ・ 第4回理事会（令和3年12月16日） 出席 理事6名、監事2名
  - 議案第1号 令和3年度第1次収支補正予算(案)について
  - 議案第2号 給与規程の改正について
  - 報告第1号 監事監査報告
  - 報告第2号 理事長業務執行状況報告
  - 報告第3号 函館市による令和3年度介護保険サービス事業者に対する実地指導の結果報告
  - 報告第4号 施設整備助成事業完了報告
- ・ 第5回理事会（令和4年3月25日） 出席 理事6名、監事2名
  - 議案第1号 令和3年度第2次収支補正予算案について

- 議案第 2 号 令和 4 年度事業計画案について
- 議案第 3 号 令和 4 年度収支予算案について
- 議案第 4 号 経理規程の改正について
- 議案第 5 号 給与規程の改正について
- 報告第 1 号 監事監査報告
- 報告第 2 号 理事長業務執行状況報告

### 3 監事監査の開催

- ・ 第 1 回監事監査（令和 3 年 5 月 2 6 日） 出席 監事 2 名  
令和 2 年度各会計収支決算について  
法人並びに理事会・評議員会の運営状況について  
各施設の運営状況について
- ・ 第 2 回監事監査（令和 3 年 9 月 2 9 日） 出席 監事 2 名  
令和 3 年度第 1 四半期の各会計収支・経理状況について  
各施設の事業運営状況について  
理事長の業務執行状況について
- ・ 第 3 回監事監査（令和 3 年 1 2 月 1 6 日） 出席 監事 2 名  
令和 3 年度第 2 四半期の各会計収支・経理状況について  
各施設の事業運営状況について  
理事長の業務執行状況について
- ・ 第 4 回監事監査（令和 4 年 3 月 2 5 日） 出席 監事 2 名  
令和 3 年度第 3 四半期の各会計収支・経理状況について  
各施設の事業運営状況について  
理事長の業務執行状況について

### 4 苦情解決委員会の開催

- ・ 第 1 回苦情解決委員会（令和 3 年 6 月 1 6 日） 出席 第三者委員 2 名  
各施設の苦情全般について第三者委員に紙面で報告し、ご意見やご指摘をいただいた。

### 5 運営会議の開催

- ・ 毎月 1 回 計 1 2 回開催 出席 理事長、各施設長、ホーム長、事務長、事務局員  
各施設の入所状況、前月次会計報告、各施設の状況等、各規則規程の見直しについて

### 6 地域交流懇談会の開催（ジョイユエルス桔梗と共同開催）

令和 3 年度も新型コロナウイルス感染拡大により中止したが、地域住民向けにホームページに「自宅で出来る簡単ストレッチ」の動画を掲載した。

### 7 社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムへのデータ提出

全国の社会福祉法人の財務状況等の情報を閲覧することが出来る独立行政法人福祉医療機構が運営管理する社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムへのデータ作成及び提出

## II ケアハウスセンテナリアン

新型コロナウイルス感染症による自粛体制で外出、外泊、面会等で制限がある中、やむを得ず行動範囲の狭まった入居者に対して、少しでも気分転換になる行事等を企画した。

自立度の高い入居者に対して、画一的な自粛体制でADLを低下させることの無いよう配慮も必要になってきている。

### 1 ケアハウス・特定入居者生活介護共通

#### (1) 入居者の高齢化への対応について

令和3年度末の平均年齢が85.7歳（前年度84.9歳）と高齢化及び要介護が重度化しており、介護が必要な入居者、認知症状の出た入居者も必然的に多くなってきました。ケアハウスから特定施設利用契約した入居者は8名おり、通院援助、服薬管理や居室清掃等も計画的に行われ日常生活も安定してきました。

しかし外部サービスを利用している入居者の中には、服薬管理ができていない、居室の清掃が行き届いていないなど、身体状況も含めて、把握が難しく、外部サービス事業者との連携が重要になっている。特定施設利用への転換も視野に、入居者にとって最適なサービスが何なのか常に配慮し検討していきます。

#### (2) 入居者の確保について

全体では、入居者12名、退居者11名で月初平均で定員80名のところ79.3名となり、令和2年度の78.7名を上回ることができました。（目標76名以上）

特定施設では月初平均で26.3名となり、令和2年度の25.3名を上回ることができました。（目標25名） ※（利用実績7頁）

#### (3) 入居者のQOLの向上について

6月には2回目のワクチン接種も終了し、自主的なクラブ活動（麻雀及び卓球等）を再開しました。外出についても、近隣の散歩は奨励していますし、感染状況により、地域を限定したりしながら、禁止とはせず、適度の気分転換を図ってもらっています。

#### (4) 入居者の健康管理と受診援助について

看護職員が中心となって、入居者の日常の健康状態の把握に努めた。特に服薬管理・指導、医療機関への受診援助が充実しました。また、コロナ、インフルエンザ、ノロ等のウイルス感染症の防止にも職員一体となって努めています。新型コロナウイルス感染予防で入居者もマスク着用、手指消毒等の励行により、風邪やインフルエンザにも罹らず、安定した生活を送れることが出来ました。

#### (5) 職員の資質向上について

外部研修は、新型コロナウイルス感染予防のため、会場が函館市で開催の研修のみ参加しました。各団体の研修会は、WEB研修でおこなわれたため、多くの職員が参加、サービスの質の向上のために必要な知識・技術等を習得しました。

また、法人内職員研修は、施設毎に開催し、施設の特性、ニーズにあった研修が開催出来ました。 ※（研修実績14頁）

#### (6) 施設の維持管理について

建物は築23年を経過し、水廻りの老朽化が著しく、年に数回、居室の床及び天井からの水漏れが発生する状況で、これは今後も続いていくと予想しています。

停電時における上水道用汲上ポンプの発電機からの回路化工事を行うことが出来まし

たが、外部にある貯水槽用の小型発電機が購入できなかったので、グループホームききょうと共用として4年度は購入する計画です。

また、計画していた非常灯更新事業が、市施設整備補助事業から選外になったこともあり、実施できませんでしたが、4、5年度の2か年計画で補助事業に申請する予定です。

※（改修事業等実績19頁）

## 2 特定入居者生活介護事業

### (1) 質の高いサービスの提供について

介護支援専門員、看護職員、介護職員、生活相談員が、入居者の心身の状態や日常生活の状況に応じて協議、作成したサービス計画に基づいて、日常生活の生活支援を中心に通院援助、服薬管理等のサービスの提供を行いました。

更に研修会等の参加により介護知識・技術や接遇の向上を図り、質の高いサービスの提供に努めていきます。

### (2) 機能訓練について

現在個人で機能訓練を受けている方はおらず、集団機能訓練で簡単な身体運動と共に、計算問題や漢字の書き取りなどの「頭の体操」やゲームなどを実施して心身の機能の維持に努めた。更に参加者を広げる努力を続けていきます。

## Ⅲ グループホームききょう

### (1) 基本理念に沿い、自立した生活を支援できるよう努めます。

年度末の平均年齢は89.8歳（前年度89.0歳）となり90歳以上の方が半数を超えています。平均介護度は2.2（前年度2.3）と下がっていますが、年間の入院者8名のうち転倒による骨折のための入院が3名にのぼり、お元気に過ごされているようでも加齢による筋力の低下は否定できない事を実感しました。

その他の原因での入院者につきましても病状による負担、環境の変化による負担を少しでも軽減できるよう入院先との情報交換をし、退院時の状態予測やご家族の意向確認など入念に行い、受け入れ準備を行いました。

入院の有無にかかわらず今後も、その方にとっての自立とは何かを常に意識し望む暮らしに近づけるよう努力してまいります。

### (2) ご利用者の確保に努め、安定した経営を目指します。

年間退居者は2名、年度末時点で保留が1名、新規入所者は2名と、ここ数年では最も入れ替わりが少なく、年間平均利用者数は35.9名となりました。

待機の方を長くお待たせすることになり、その間にADLの状態変化や在宅生活が難しく他の施設へ入所されたケースが例年より多くありました。今後は関連施設と連携し待機期間をどのように過ごしていただくかのご提案も含め、ご利用者の確保に努めます。

※（利用実績8頁）

### (3) サービスの質の向上に努めます。

職員自主研修については前年度同様、研修委員が中心となってユニット単位で行い、その場で意見交換ができる良い機会となりました。外部研修はグループホーム協会主催の基礎研修、実践者研修に参加することができ、スキルアップにつながりました。

また新たな取り組みとして職員個別面談を実施しました。一人一人の思いを知る機会と

なり、理念や方針への理解を深めたうえでの目標設定ができました。

面談については、モチベーションの維持向上ができ離職を防ぐためにも継続して行い、サービスの質の向上を目指します。

※（研修実績 15 頁）

#### （4）地域に開かれた施設を目指します。

感染症対策から、前年度に続き施設内へお客様をお招きすることはできませんでしたが、公用車が新しくなったこともあり、少人数でのドライブを実施し交流は難しいながらも地域へ出かける機会を多く設けました。

ホームでの暮らしについてはお手紙や広報誌にてご覧いただき、オンライン面会も随時行っております。

面会が自由にならない中でも、社会とのつながりが継続できるよう努力を続けてまいります。

#### （5）函館市による令和3年度介護保険サービス事業者に対する実地指導への対応

- ・実施日 令和3年10月15日 出席 グループホームききょうホーム長以下3名
- ・結果 改善事項なし

## IV 桔梗みのりの里

### （1）令和3年度事業運営目標及び基本運営方針について

今年度は、理念に基づいた事業運営の強化、感染対策・防災対策の強化、虐待の再発防止を目標として施設運営を行いました。

### （2）令和3年度事業計画別事業報告について

#### ① 基本理念に基づいた事業運営について

人事考課での個人面談を通して、基本理念の理解を深め、事業所が求める職員像を提示し、基本理念の達成に向けどのような取組を行っているかを職員に提示しました。研修としては毎年の年度初めに理事長から、研修を行っていただき、新職員へは採用時のオリエンテーションを通して周知して参りました。次年度も引き続き基本理念の理解を深め、職員一人一人が基本理念の達成するための行動ができるよう目指します。

特養・ショートでは3月末までで医療機関への退所が38名、入院者（在籍）は延べ1,345日、医療機関受診者は延べ488人でとなっており囑託医や協力医療機関等と連携し日々の病状に変化があった場合には早めに対応し、健康管理に努めました。

今年度は3月末までに7件の看取りケアを行いました。その都度ご利用者やご家族のご希望を確認しながらケアプランを作成し看取りケアを実施いたしました、日々の病状や生活状況を細やかに報告し、コロナウイルス感染予防を徹底する中ではありますが面会していただくことで安心していただけるよう努めました。

計画的に個別機能訓練や集団機能訓練、レクリエーションを実施し利用者の心身機能の維持向上に努めました。

安定した事業経営という面ではコロナウイルス感染拡大による利用の自粛もあり、また他の施設も空床が目立ち、思うように紹介を頂けず、稼働率の低下を招きました。年度末には回復し満床で終わることが出来ましたので、この状態を維持して令和4年度は目標を達成できるよう努めていきます。

特別養護老人ホーム 平均92.0人（目標95人以上） 平均介護度4.2

ショートステイ	平均16.1人(目標17人以上)	平均介護度3.2
デイサービス	平均19.7人(目標21人以上)	平均介護度1.6

コロナ禍のため窓越し面会をお願いしている所ですが、月に1度ユニット職員がご家族へ施設での様子を知らせる写真入りの手紙を作成し送付しております。年度末に行った入居者のご家族のアンケートでも感謝の言葉を頂きました。直接の面会が難しい状況はまだ続きますが、感染防止対策を徹底に努めながら行事やレクなども楽しんでいただけるよう計画し実行することができました。

地域貢献活動ではホームページ自宅でできるストレッチの動画を掲載するとともに桔梗町会へも配布しました。次年度は入居者も参加して地域の清掃活動も行いたいと考えております。

## ② 感染予防対策と防災対策について

感染予防対策として、入居者のご家族の窓越し面会や職員の出勤前の体温チェック、職員の同居する家族に感染の疑いがあった場合などの対応を職員に周知し予防に努めてきました。また競輪とオートレースの補助を受け玄関にサーモカメラや足踏み式の消毒液スタンドの設置、訪問者と対応する際のパーテーションを追加しました。

感染症発症時の対応では、ユニット内でコロナ陽性者が発生した時のシミュレーションを全ユニット分と全体分として計7回行い、そのたびに業務継続計画の見直しも行ってきました。

防災対策においても桔梗みのりの里の地理的な条件を勘案しつつ想定される地震等による停電を想定した訓練を実施しました。

## ③ 虐待の再発防止について

令和3年2月に短期入所生活介護で起こした身体的虐待事案から、令和3年度は研修として総論を動画研修で行った上で多職種によるグループワークを行い、ナースコールが重なった時の優先順位やケアを拒否する利用者への対応方法を他のユニットの介護職員と話し合い、虐待や不適切なケアにならない対応について理解を深めてもらうことが出来ました。また、人事考課における個人面談の中でも普段のケアが不適切なケアになっていないかといった確認も行いました。1度ともあってはいけないことですので、今後も再発することが無いよう努めていきます。